

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19010
課題名	内服薬インシデント予防のためのアセスメント項目～3年間の内服インシデントから～
研究期間	西暦 2019年 6月 10日 ～ 2019年 11月 30日
研究の対象	平成 26年 4月 1日から平成 29年 3月 31日まで 5階西病棟に入院中であった方
利用する試料・情報の種類	■平成 26年 4月～平成 29年 3月の院内の医療の安全管理システム SafeMaster インシデント報告書（以下インシデント報告書とする）から自己管理薬に関する報告。（詳細：年齢、性別、疾患、治療、副作用などの発生状況、精神的状態、疼痛などの身体症状の有無、内服薬の管理方法、内服薬の種類など）
研究の意義、目的	血液腫瘍内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科では化学療法や放射線治療、手術を受ける患者さんがいます。治療に関連した薬剤、また副作用症状を予防・軽減するために内服管理が重要となります。様々な既往歴から複数の内服薬を服用している患者さんが多くいます。現在、自己管理の患者さん全員に空袋確認を実施させていただいています。しかし、内服間違いや内服忘れを未然に防ぐことにはつながらず今後、間違いがなく患者さんが安全に内服できるように間違いがあった状況を分析し、傾向を明らかにしたいと考えています。
研究の方法	この研究では、これまで診療録に記載された情報を使用します。内服薬の管理方法を振り返り、自己管理薬に関するインシデント報告書から発生要因となる性別、年齢、障害ありなし、診療科、事例の具体的内容を抽出します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>住所：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話：0166-69-3650 所属：5階西ナーステーション 氏名：江口 卓也（研究責任者）</p>